

ISO14005のHOP段階

TRMACが合格

名市内で初 環境対応製品に力

日本環境認証機構（JACO）は28日、段階型環境マネジメントシステム「ISO14005」の第一段階である「HOP段階」に、車載電装品のソフトウエア開発などを手がけるTRMACエン지니어リング（名古屋市南区）が合格したとして、合格証授与式を行った。ISO14005の合格は、全国で6社目。名古屋市は、中小企業などが環境に配慮した経営に取り組みやすいように、環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証の過程を段階別に設定し直した国際規格。審査・認証機関で導入を促している。JACOが「HOP」「STEP」「JUMP」の3段階の間のコンサルタンチームを構築し、全国運用期間で合格。辻武彦社長は「継続的な運用で『見える化』を進め、社員の意識を高め、経営改善につなげた」と話す。事務所におけるCO₂（二酸化炭素）の排出削減に加え、環境配慮型製品の開発などに力を入れる。JACOの下井泰典社長は「ISO14005のPDCAをつまかく活用していっただければ」などと、祝辞を述べた。



28日に行われた合格証授与式（名古屋市中区）。右がTRMACエン지니어リング本社で、写真右が社長、左が下井社長。

国際規格。審査・認証機関で導入を促している。JACOが「HOP」「STEP」「JUMP」の3段階の間のコンサルタンチームを構築し、全国運用期間で合格。辻武彦社長は「継続的な運用で『見える化』を進め、社員の意識を高め、経営改善につなげた」と話す。事務所におけるCO₂（二酸化炭素）の排出削減に加え、環境配慮型製品の開発などに力を入れる。JACOの下井泰典社長は「ISO14005のPDCAをつまかく活用していっただければ」などと、祝辞を述べた。

辻武彦社長は「継続的な運用で『見える化』を進め、社員の意識を高め、経営改善につなげた」と話す。事務所におけるCO₂（二酸化炭素）の排出削減に加え、環境配慮型製品の開発などに力を入れる。JACOの下井泰典社長は「ISO14005のPDCAをつまかく活用していっただければ」などと、祝辞を述べた。